それぞれの巴里研修旅行後記 2024 1204-09

保坂真美子(株)QUALITY

☆寒くてつらかったけど最高の思い出になりました。モンマルトルのグルメツアーをドイツ人イギリス人日本人で開催して、楽しいグルメツアーになりました。今回の研修旅行は思い出深く有意義な旅となりました。

①国際大学都市コルビジェスイス館







※12月7日(土)パリノートルダム大聖堂の修復完工式典がありました。奇しくもその式典に立ち会えたので冷たい雨の中でも見守りました。(外部モニター見学)

②国際大学都市コルビジェブラジル館

柳山 健(株)ユニバァサル設計

☆パリの街並みはどの角度から見ても絵になる風景が広がっていました。建築物は古典主義から近代的な施設まで多様なスタイルが融合しており、特にポンピドゥー・センターなどのモダニズム建築は街並みに独特のアクセントを加えている印象でした。





ポンピドゥー・センター

溜 優子 (株)AO inc.

☆パリの街中では、百年以上前に作られた古い建物が現役で使われている様子が日本と大きく違っていて、目的地まで移動する途中もずっと眺めて楽しみました。ツアーに同行した支部の先輩方から建物の特長についての興味深い話を聞く機会もあり、個人の旅行ではできない貴重な経験となりました。



サン=タントワーヌ通りの建物

大谷徳義

☆雨とゼネスト、聖堂落成式警戒のパリ市内、オルセー美術館は印象派絵画と彫刻・何時も見損なってしまうアールヌーボー、パレド東京ではデュッフイの壁画、好きなサンシュルピス教会、雨の中の賑わうマルシェ パリ!



①ラスパイユ通りのマルシェ



②デュッフイの壁画



③サン-シュルピス教会

三木伸展(株)GULIMONN

☆パリの街は美しさを求めるパリジャンとパリジェンヌによって作られている生活のすべてにそれらが浸透している感じ、それがとっても新鮮でした。感じた思いがまだ身体の中でぐちゃぐちゃと整理しきれないでいます。

とても楽しい時間でした。ありがとうございました。



オルセー美術館



凱旋門屋上よりエッフェル塔 を望む

相原直樹(株)ジャパン・ドラフティング

☆フランス研修は2024年12月4日~9日という4泊6日という日程、到着日の夕食以外は自由行動というプログラムでした。各自見聞したい建築も多い都市で最適な計画だったかと思います。また時期としてはクリスマスシーズン、ノートル・ダムの復旧イベントもあり、このタイミングでなければ経験できないことが多かったように感じます。近代建築から最新建築まで見て触り、実際にその場に立たないとわからないこと、国、風土による建築の違い等々を再認識できた研修でした。

①ルイヴィトンファンデーション





②ノートル・ダム・デュ・ランシー

中原早季子(有)アークシード

☆パリ郊外のサヴォア邸を訪れました。

写真や図面で何度も見ていた建築が目の前にあるということに、まずは感慨深いものがありました。確かに近代建築 5 原則を体現していましたが、なにより生活する上でのスケール感や工夫が心地よいと感じました。その足でパリ中心部にもどり、建築・文化財博物館でユニテ・ダビタシオンの実物大模型を見ました。キッチンの天井がとても低く感じたので実測したところ2,270、モデュロールの人物が手を挙げた高さが2,260、なるほどと納得。やはり身を置いてみると、よくわかることがあるものだと思いました。



サヴォア邸

種谷奈雄子(有)アークシード

☆40年ぶりのパリは恐らく東京ほどは変わっていないと感じました。欲張って中心地、外周部、郊外を回り、歴史的な建造物、現代建築、美術館等多数見学し、研鑚を積むことができました。特に、シテ建築博物館はほかに類のない多種多様な模型等の展示で驚かされるとともに大変勉強になりました。計画、立案してくれた委員の方に感謝したいと思います。



小島由香里(株)かべ設計スタジオ









①モンシャンミシェル

③オペラ座ガルニエ宮

④ポンピドゥーセンター周辺の壁画アート

②ベルサイユ宮殿

斉藤竹美(株)中山克己建築設計事務所

☆久しぶりのパリに気分は盛り上がりました。

見たい施設、街並みたくさんある中で選んだ行程は忙しくもありましたが貴重な体験と刺激を受けた旅行でした。

Day1 シャンゼリゼ通り













ルーブル美術館ピラミッド

国立図書館リシュリー館

ノートルダム大聖堂

シャガールのステンドグラス



リクヴィール/テーマパ ークの様



ランス夜景



ラ・パン アジル シャンソニエ

Day4 ランス散策 + シャンソンバー

ピカソ美術館

サヴォア邸

富永 清 (株) 空間設計

☆パリの街は、何処を見ても何処を歩いても歴史を感じ、刺激される場所でした。美術館に行けば宝物を探す様にわくわ くする気持ちになりました。宿題を沢山残してしまいましたので、近い将来また、巴里の石畳を歩きます。

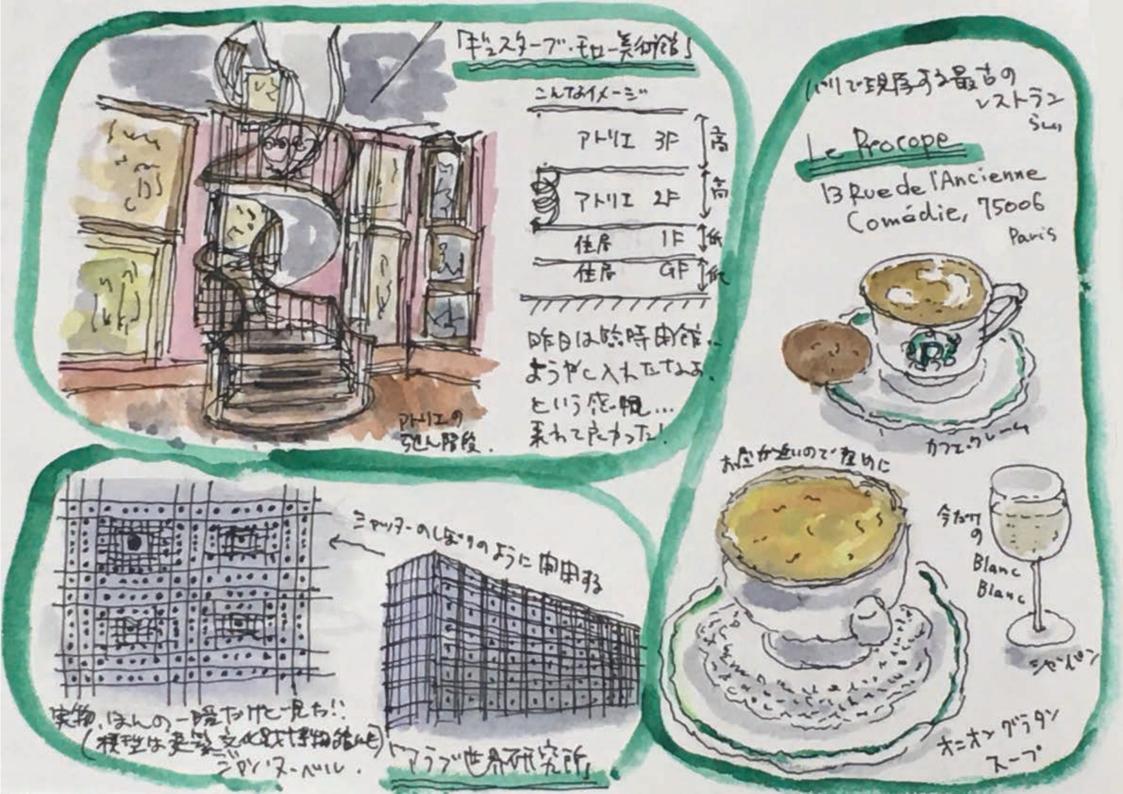














中心があのますはとこといっけい ようヤム入れぬたランケ・スはいか お客にてしたた。 じってもんりな

5 Pue Venise 51100 Reims

きゃんいろかせ



L'ATMOSPHER!